⑤　全体での協議・助言を中心とした授業検討会

ア　特徴

授業者と参観者は，児童生徒の学びの姿を通して語り合うが，あまり形式にとらわれず，自由に意見交換ができるとともに，十分な指導助言の時間を確保した検討会

イ　事前準備

児童生徒の学びの姿（児童生徒の発言・つぶやき・表情・行動）と教師の発問・指示等の授業の中で起きた事実を，何らかの形で記録しておく。

ウ　検討会の過程　＜約９０分の時間設定＞

	主な項目	形態	内容・留意点
導入	1　検討会の進め方の確認 ＜５分＞	全体	1　校内研究の目標，授業のねらい，指導の手だての工夫（提案），児童生徒とのかかわりを，協議の視点とすることを確認する。
	2　授業者（研究主任等）からの説明 ＜５分＞	全体	2　授業のねらいや手だての工夫等にかかわらない内容は省略する。授業者の思いや願いを具体的に話す。
展開	3　協議 ①　授業のねらいについて ②　授業者の手だての工夫等について……など ＜５０分＞	全体	3　司会者は，多くの参観者に発言の機会を与える。 ・児童生徒の学びの姿から協議する。 ・特定の意見や感想発表に終始しない
まとめ	4　指導助言 ＜ 20~25 分＞	全体	4　十分な時間を確保する。
	5　授業者等によるまとめ ＜５分＞	全体	5　授業者や共同研究の代表が，授業のねらいの達成，提案事項の成果と課題等をまとめ，発表する。